

対談 小森たくお × 村山卓

「これからの金沢について」

今回は、金沢市長として活躍する村山卓氏と語り合いました。



小森: 本日、対談させていただくのは、金沢市長の村山卓さんです。よろしくお願いします。

村山: よろしくお願ひします。

小森: 村山市長は、副市長から市長という連続性のあるキャリアを積んでおられ、信頼できる舵取りをされるのだろうと思っています。また、政治家村山卓として大きなビジョンもいずれ打ち出していきたいと期待しています。そのあたり、いかがでしょう。

村山: 10年後の金沢を見据えた長期のビジョンを年内に作っていきます。その中でめざす姿の一つは生産年齢人口の拡大です。

有効求人倍率が非常に高くなっており、働き手不足が懸念されます。移住者や関係人口を増やしていく策を講じなければならないと思っています。また、中山間地域の過疎化に対しても、都市部を持つ金沢なりの解決の仕方や学生や若い世代がたくさんいる中で活かし方も政策として考えていきます。また、来年度からは金沢の持つ強みである文化を活かし施策として中学1年生全員が石川県立音楽堂で、オーケストラ・アンサンブル金沢(以下OEK)のコンサートを鑑賞するという事業を新たに始めます。こどもが金沢市ならではの良さを体感することで、成長して市外に出た後も、金沢に戻りたいという気持ちになってもらいたいと思っています。

小森: これからますます深刻になる人口減少について取り組む姿勢が素晴らしいと思います。また、OEKの話など金沢の持つ文化の魅力を通じて、人口増に繋げていくという構想も秀逸ですね。

村山: ありがとうございます。代議士は、今、金沢市に必要なものは何だと思われませんか。

小森: 金沢市は本当に独特でユニークな都市だと思います。色々なものを大事にしていて、しかも新しいものを取り入れていて、ほ

かの都市が真似しようとしてもまずできないと思います。加えて、コンベンションの受け皿など、伸びしろを秘めている分野がたくさんあり、市長にはそれらを花開かせて欲しいですね。

国政や私に期待することはありますか？

村山: 代議士や国に期待している一つが安全保障、それとこども政策です。例えば、自治体による医療費優遇の基準作りや大学の入学金・授業料の減免など大胆な改革を期待しています。

小森: そうですね。安全保障の大転換の次にとるべき政策は、子育て政策であり、今年はその一歩懸命取り組みます。6月の骨太の方針に入れるよう、与党の一員としてしっかり議論していきます。

本日はありがとうございました。
(2023年2月)



衆議院議員 小森たくお

たくお

KOMORI TAKUO Letter

通信



安全保障大転換の次は、こども・子育て政策。そして!

令和4年12月には大きな政策決定が次々に行われました。

まず、非常に厳しい安全保障環境を背景に「国家安全保障戦略」をはじめとする国防三文書が改訂され、中期的な国防政策が新たに決定されました。反撃能力の保有・充実を通じた抑止力の向上をはじめ、不足によって現場に負担を強いてきた、航空機などの部品や弾薬の整備、そして老朽化が著しい自衛隊施設や住宅の建て替えなどを行います。5年間で43兆円の経費を国の平和と安全を守るために充てることになり、戦後の安全保障政策の最大の転換を成し遂げました。私も国会議員になった直後から自民党の安全保障調査会で役職を頂き、これまでの経験に基づいて積極的に貢献しました。

止まっていた時計はエネルギー政策でも動きました。電力不足や脱炭素などの課題のほか、エネルギー価格の高騰による電力料金の高騰や国富の海外流出が続いています。克服のためには、再生可能エネルギーや原子力発電を含めたあらゆる手段を活用する必要があり、これにより電力不足の解消や料金の抑制、脱炭素の推進が期待されます。

このほか、安全性に偏り過ぎた家計の資産を見直して安定的な資産形成に向かうための税制改正が行われ、NISA(ニーサ)の抜本的拡充と恒久化が実現しました。リスクを抑えつつ少額から始めることができる制度であり、来年からの適用を前に報道や宣伝に皆さんが触れる機会も増えることでしょう。日本や世界の経済成長の恩恵を受けながら家計が安定的に身の丈に合った資産を作ることは長年の課題でしたが、今回大きく前進させることができました。

同じく積年の宿題となっていた、スタートアップ企業の支

金沢の未来を創り
この国を守り抜く



援も抜本的に強化され、今後5年間で投資額の10倍増を目指すことになりました。野心的な目標にふさわしい税制改正や各種の支援策も用意できました。高度成長を支えた企業群の中には、戦後に創業して挑戦を続けたソニーなどの企業も多く含まれます。意欲ある若者などを応援して、将来の世代が成長の果実を得られるようにしたいものです。

こうした果敢な政策の実現に私も様々な役柄で関わりましたが、現在(令和5年2月)開催中の通常国会で活発な論戦が行われています。この機会に、政策の内容・意義や重要性が多くの人に届くことを心より願っています。

今年に取り組む、次の待ったなしの課題はこども・子育て政策です。コロナの影響も受けて新生児が80万人を切り、ピークの1/3程度にまで落ち込んだ現在、これ以上の先送りは許されず、大転換を実現しなければなりません。児童手当の拡充のほか、働き方改革や子育て支援の充実など、多角的・多面的に取り組む必要があります。4月にはこども家庭庁が発足し、そして6月頃には「骨太の方針」を決定します。こうした層を睨みながら、与党として政府と大きな政策の方向を議論して責任ある結論を出していきます。

そして、更に大きな転換が必要です。憲法改正の議論をいよいよ前に進めます。安全保障環境や時代や社会の変化に合わせた改訂は、日本の社会や経済の活力を高める観点からも不可欠です。制定以来一度も実現していない難易度の高い問題ですが、憲法についても時計の針を動かしていきます。

皆さんからの付託を背に、令和5年も難しい課題に挑んでいきます。温かいご支援をよろしくお願いします。

Information

学生さん対象 こもりたくお勉強会、開催決定!

日程 2023年5月19日(金) 会場 衆議院第一議員会館会議室 東京都千代田区永田町2丁目2-1

石川県や金沢市にゆかりのある関東在住の学生の方などとの交流勉強会を開催します。小森たくおや第一線の国家公務員がホットな政策について語り、皆さんと意見交換します。終了後は懇親会で肩の力を抜いた交流も予定しておりますので、みなさん是非お気軽にお越しください。若い世代の新しい交流・出会いの機会にさせていただければと思います。

※参加ご希望の方は小森事務所までお問い合わせください。

金沢の未来を創り この国を守り抜く



<https://komoritakuo.jp/>

<https://www.facebook.com/komoritakuo/>

office@komoritakuo.jp

小森たくお
金沢事務所 〒920-8203 金沢市鞍月5丁目181番地 AUBEビル5階 TEL.076-239-0102 FAX.076-239-0103
東京事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館812号室 TEL.03-3581-5111 FAX.03-3508-3609

小森たくおプロフィール

昭和45年5月21日生まれ。東大法卒。プリンストン大学院修了。財務省、金融庁、防衛省などに勤務。石川県総務部長、企画振興部長時、北陸新幹線金沢開業準備、IRいしかわ鉄道設立に携わる。令和3年初当選。



総務委員会質問

2022.11.17

衆議院 総務委員会のNHK決算について質疑。受信料引き下げを評価するとともに、今後も社会経済環境の変化に対応するため、NHKにたゆめ変革を求め、総務大臣から前向きな答弁を受けました。



デジタル通貨特別PT

2022.11.24

自由民主党金融調査会の「デジタル通貨特別PT」の事務局長として司会を務めました。



小森たくお君を育てる会

2022.12.8

初めてのパーティーを東京で開催。森総理のほか、自民党の幹部や大臣、先輩議員や同僚議員にも多く駆けつけていただきました。また、東京の企業のほか、金沢からも多くのご支援者に応援に来ていただきました。



邦楽器商工業振興議員連盟 岡田国際博覧会担当大臣要請

2022.12.13

邦楽器商工業振興議員連盟の一員として、岡田国際博覧会担当大臣へ要請を行いました。



与党整備新幹線教育・新大阪整備委員会

2022.12.14

与党整備新幹線教育・新大阪整備委員会が開催され、国土交通省から現状と課題について説明がありました。コロナの影響で環境アセスメントが遅れる中、事実上の着工となる予算の獲得を論じました。



北陸新幹線建設促進同盟会等 5団体による中央要請

2022.12.15

北陸新幹線建設促進同盟会等5団体による与党整備新幹線建設推進PTへの要請が行われ、地元議員として要請活動に同行しました。



金沢福光連絡道路整備促進要望

2023.1.17

金沢福光連絡道路整備促進期成同盟会・東部環状道路建設促進協議会の要望活動で、村山金沢市長、米澤石川県議会議員らが議員会館にいられました。



通常国会開会

2023.1.23

第211回通常国会が開会しました。和装振興議員連盟の一員として、初めて和装で国会に臨みました。



予算委員会パネル

2023.1.30

衆議院予算委員会の初日、同僚議員の神田潤一代議士の隣でパネルのサポートをしました。



金沢開発協議会・金沢港整備促進期成同盟会

2023.1.31

金沢開発協議会・金沢港整備促進期成同盟会の村山金沢市長、石川県議会議員、金沢市議会議員らから要望を受けました。

441日の活動記録

2021.11.8 - 2023.1.22

2021.11.8 「初登庁」

88,321票の重みを感じながら、緊張の面持ちで初登庁しました。

2022.4.10 「宮本周司参議院選挙応援」

石川県選出の国会議員の同志として応援させていただきました。

2022.8.6 「平和町納涼フェスティバル」

地元平和町での「お祭り」。浴衣で初めて参加しました。

2022.10.23 「街頭演説(神谷内交差点)」

「ドクターヘリ」衆議院議員松本ひさし氏と、国政について訴えました。

2022.9.15 「第107回宗達会」にて

茶会などを通じて、金沢の文化をたくさん吸収します。

自由民主党金沢支部 政経セミナー

2022.11.20 「自民党金沢支部政経セミナー」

大学時代からの友人である党女性局長松川るい議員と対談しました。

2023.1.22 「第4回 いしかわ政経塾」

衆議院議員福田達夫氏、参議院議員今井絵理子氏を迎えてのセミナー。

2022.11.19 「金沢外環状道路海側幹線 金沢市大河端町～福久町間 開通式」

山環と併せて、金沢都市圏発展に欠かせない道路が初めてつながりました。

2023.1.13 「令和4年度金沢福光連絡道路整備促進期成同盟会 石川県知事要望」

これからも、国と県、市町との連携を大切にします。

金沢大学特別講演会

キャリアを考える金大生 令和4年12月20日

公務員や政治、行政に関心のある学生を対象にしたセミナーに小森たくおが登壇。金大生・教職員・附属高校生延べ65名を対象にキャリア形成に関する講演を行いました。

北陸新幹線の予算に関する委員会が急ぎよ開催されたため、やむを得ずリモートでの講演となりましたが、小森自身の国家公務員になった経緯、県庁時の経験、国会議員を目指したきっかけや仕事内容などを約45分わたって語りました。

講演後のアンケートには「国家公務員の仕事のやりがいを感じた」、「政治家の具体的なイメージができた」と、好意的な回答がありました。

各種講演会、セミナーのご依頼は事務所まで

災害を考える。

決して起きてほしくないことですが、令和4年は金沢でも様々な災害にみまわれました。2月に起こった東長江の土砂崩れ、8月の熊走町などでの冠水・浸水被害、12月には竜巻が打木町の農業用パイプハウスを直撃しました。 私たちの住む日本は、地震、水害、土砂崩れなど自然災害の多い国土です。防災や減災を通して一人一人の生活を守っていくことは政治家の最大の責務です。 災害に遭わないよう、また、万が一災害に遭った際には手厚いサポートが必要です。国会議員には、「防災服」が貸与されていますが、今年は「防災服」に袖を通す機会がないことを祈念しています。

